



料金受取人払

茅野局承認
1567

差出有効期限
令和6年4月
30日まで
切手不要

3 9 9 0 2 9 0

全員協議会での 町関係協議事項

第13回 1月11日

1. 臨時議会について (町長)
2. その他

第14回 1月24日

1. コロナ感染拡大に伴う「振興券・食事券」及び「周遊クーポン」について (産業課)
2. 事業進捗状況について (総務課)
3. パノラマリゾート経営状況について (総務課)
4. 富士見町 DX 計画について (総務課)
5. その他 (報告等)
 - ・旧小川別荘アドバイザーによる説明会(意見交換会)の実施について (総務課)
 - ・コロナ対策対応経過等について (総務課・住民福祉課)

第15回 2月18日

1. 3月定例会議会予定議案について (副町長)
2. 令和4年度予算の概要について (財務課)
3. 南アルプスジオパークの退会について (産業課)
4. 事業進捗状況について (総務課)
5. パノラマリゾート経営状況について (総務課)
6. 2020 国勢調査結果について (総務課)
7. コロナ対策対応経過等について (総務課・住民福祉課)
8. その他

第16回 3月15日

1. 追加議案(人事案件2件・条例改正2件・一般計補正予算)について (副町長)
2. 富士見町森林整備計画について (産業課)
3. 富士見町健康づくり計画・食育推進計画について (住民福祉課)
4. コロナ対策対応経過等について (総務課・住民福祉課)
5. 事業進捗状況について (総務課)
6. パノラマリゾート経営状況について (総務課)
7. その他

★新型コロナウイルス感染拡大を受け書面決議議長公務日程は除く

議会活動

富士見町議会期間 令和4年1月～3月

1月

- 9日 消防出初式 / 成人式
- 11日 議会全員協議会 / 議会運営委員会 / 議会臨時会
- 12日 議会改革実行委員会
- 17日 議会広報編集委員会
- 21日 議会全員協議会
- 26日 諏訪広域連合 全員協議会

2月

- 2日 議会改革実行委員会 / 議会広報編集委員会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 議会広報編集委員会
- 17日 議会臨時会
- 18日 諏訪広域連合 議会運営委員会 / 議会全員協議会
- 21日 議会広報編集委員会
- 24日 議会運営委員会

3月

- 3日 3月定例会開会・上程・議案説明
- 4日 議会改革実行委員会 / 3月定例会 質疑・委員会付託
- 7日 一般質問①
- 8日 一般質問②
- 9日 予算審査特別委員会①
- 10日 予算審査特別委員会②
- 11日 常任委員会
- 15日 議会全員協議会 / 議会運営委員会 / 確定議
- 16日 南諏衛生施設組合議会 定例会
- 22日 諏訪南行政事務組合 定例会
- 23日 諏訪広域連合 議会運営委員会 / 諏訪広域連合議会 定例会
- 24日 諏訪広域連合議会 定例会
- 25日 議会広報編集委員会 / 諏訪広域公立大学事務組合議会 定例会

Vol. 174

議会だより

令和4年5月1日発行

「議会広報編集委員」
委員長：牛山基樹 副委員長：三井新成
委員：織田昭雄・島正孝

発行：富士見町議会 編集：議会広報編集委員会
お問い合わせ：富士見町議会事務局 0266-629403
〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777

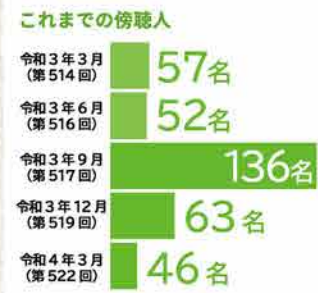


議会だより

Vol. 174
令和4年5月1日

議会の傍聴しませんか？

※会期中であれば傍聴席から傍聴可能
※入退場自由。役場4階へお越しください



定例会(予定)
6/2_木

一般質問(予定)
6/6_月・7/7_火

長野県諏訪郡富士見町落合 10777 富士見町議会 行き

みなさんの **声** を聴かせてください
貴重なご意見ありがとうございました。
もしよろしければ該当欄にマル印をつけて投函してください。

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上
男性・女性

あなたの未来

二刀流 システム設計会社 サンモンジュ社長 ヘラブナ師 五味亮彦さん(富士見台)

システムエンジニアとして世界中にお客様を持ち、また凄腕・信濃の釣客として『ダイワヘラマスターズ』などメジャー大会でも活躍する五味さん。どんなお話が聞けるのでしょうか？

会社は富士見にあります。本業は置いておいて…、ヘラブナ釣りは釣果を競ったり、大物を狙ったり、道具に凝ったりと色々な楽しみ方がある釣りです。私はこの釣りを始めて20年ほど経ちます。トーナメントとして競技時間内に釣った魚の重量で釣技を競う大会に遠征に行くようになり、地方大会を勝ち抜きダイワヘラマスターズもシード権で全国大会まで行くようになりました。長野県では、鏡湖、みどり湖、美鈴湖など、素晴らしい釣り場があります。

コロナの影響で釣り人口の増加もあり、県内にもここ2年程でヘラブナ釣りを始める若い人がかなり増えました。以前はほぼ高齢者しかおらず釣り場の衰退なども心配していましたが、これから長野県のヘラブナ釣りも盛り上げていきたいと思えます。(購入には3年待ちという五味さんの「五三作ヘラウキ」がふるさと納税の返礼品に加わるようです)



「町の予算のこと 一緒に話そう・考えよう！」
使おう？
私たちがの税金
富士見町議会の日付フォトコトコト
https://www.town.fujimi.lg.jp/site/gikai
富士見町議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます

もっとよよく見えわかりやすく
町民に開かれた議会へ

子育てしやすい静かな環境を大切に守って欲しいです。常に親子が本に囲まれた生活が出来たらと願っています。町の図書館を一層充実させて欲しいですね。



20代 女性

駅前商店街道路は歩道がないうえ除雪溜りから、融雪、凍結により転倒があります。車道通行にもなっていることから危険です。坂道の凍結や雪かき人足の高齢化など、冬季歩道の安全確保に予算を使ってください。



60代 男性

中心部から離れた地域の高齢者の暮らしを守って欲しいです。買い物や病院など安心して暮らし続けられる支援や、使いやすい公共交通の維持にお金をかけて欲しいです。



70代 女性

駅とカリゾートとか町の施設では普通にWi-Fiが使えるような環境を作ってください。コロナで制約が多い中なので、お買い物やカラオケなど気分転換でき息抜きできる場所も町内に欲しいです。



10代 女性

唯一の願いは、この美しい富士見の自然を大切に、後世に残して行ってほしい。そのために予算を使って欲しい。これだけは強く行政に望みたいです。



90代 女性

楽しく、安全に歩ける街づくりのために、歩道の整備をしてほしい。ベビーカーや、シニアカーで安心して移動でき、子供の通学路の安全確保にも繋がる道路環境整備にお金を使ってほしい。



60代 女性

強風などによる通学道路、生活道路の立木の倒木、電線を損傷しての停電被害や、交通支障を無くすために、調査のうえ予算付けの配慮をお願いしたい。



80代 男性



届いていますか？

私たちの

1. 子育てパッケージ
2. 安心・安全なまちづくり
3. 持続可能なまちづくり

注目

令和4年度
一般会計予算額

83億9000万円

昨年対比 11.7% 8億8000万円増

一般会計に6特別会計、水道事業会計、下水道事業会計を合わせた総予算額は【137億9247万円】
前年対比6.3%【8億1285万円増】

※詳しくは「広報ふじみ4月号」をご覧ください

若い世代の新築住宅への告知放送設備の導入率が低下しているのではと危惧しています。新告知システムの検討が進んでいるようですが、子育て世代への告知放送設置補助金の新設をしてもらえませんか。



40代 男性

子どもたちが気楽にすずらんバスに乗って駅前、夢広場に行かれる乗車バスの発行があればいいと思います。商店街の歩道の整備や通学路外灯の整備、分水の森や子どもが遊べる公園整備にも予算をかけて欲しいです。



30代 女性

静かに生活ができる田舎暮らしの憧れのモデル地区を作りたい。これからのIT社会に町民が対応できるように、行政として研修サポートに予算を使って欲しい。



30代 男性

コロナでいろんなことを我慢しています。全部大人が決めるのではなく、10代の声を聞いてもらえる窓口を作って、若者の意見も反映されるようにお金を使って欲しいです。



10代 男性

3歳くらいの子どものために安心して遊べる公園や、特別高価なものでも遊具を揃えて欲しいです。子どもたちの未来のために温暖化対策の予算をつけて、計画を継続して欲しいです。



20代 男性

子どもたちも使いやすい公共交通を充実させて欲しいです。通学や課外活動の町内移動など、送り迎えに掛かる保護者の負担は仕事との両立に負担になっているのではないのでしょうか。



40代 女性

何かして欲しいというより、時には何もしないで欲しいと思うことがあります。多くの場合、町が何かを始めると、この富士見の自然が壊されるのではと心配になります。



50代 男性

一般質問・委員会 質疑を SNS で公開を

- ▶ 議会傍聴に来られない方々に、議会活動を身近に

最近、議会傍聴に来られる方が多くなりましたが、町議会では町民の皆さまの生活等に密着した問題が議論されています。町民の皆様にご覧いただくには、議員が町政に対する考え、また今後の方針についての考えを直接知ることができます。傍聴にご臨場いただけない場合にも一つの方法として、SNSで議会が見られるよう行政に申し入れを行います。



五味 平一 議員

農業、集落の持続的な 発展にむけて

- ▶ 地域農業を負担なく持続していく支援は出来るのか

集落の特性に応じ効率的に「集落と行政の一体感」をもって取り組むとき。農地の維持、担い手不足、農業用水・農業資源を補う有効な方法は、環境面での持続性の観点も含み、地域の暮らしを作ってきた知恵が残っているうちに中山間地域を空間で捉え、連携をもって持続的に整備し、地域SDGsの視点で課題にコストを掛ける時である。



牛山 基樹 議員

届けられていますか？

議員の



ICTの活用は待ったなし

- ▶ 保育業務にもICT化は有効子どもと向き合う時間を増やす

保育園の仕事にICT化をどのように活用するのか。疑問に思うかもしれませんが、全国的に支援システムの導入は進んでいます。保護者からの欠席、早退、遅刻、預かり時間の変更などの連絡がアプリで行え、電話を掛ける必要がありません。お便りは配信機能を使えば、保護者のスマホに届きます。手書きより早く送ることができます。園や保育士には業務の効率化、保護者には利便性が期待できます。保育士の働き方改革にもつながります。変化を恐れず積極的に検討すべきです。



川合 弘人 議員

八ヶ岳観光圏内の 入浴施設利用料

- ▶ 北杜市の入浴施設の利用料、町民に補助？

北杜市の入浴施設はそれぞれ個性があり、かつては利用料もリーズナブルで、多くの町民が愛用していました。しかし最近料金改定で、市外者の利用料は北杜市民の倍近いものになり、町民が敬遠しがちになっています。八ヶ岳観光圏内の市町村交流のため何らかの補助を、との声が寄せられました。これを町に提案したところ、前向きに進めたいということです。



名取 武一 議員

令和4年度 道路施設 予防保全対策事業3億2690万

- ▶ 主要町道の表層アスファルトのオーバーレイ道路舗装

令和4年は道路施設予防保全対策事業5ヵ年計画の2年目となる年度で、事業費も近年の道路行政と比較するとかなり高額な費用が計上されています。道路側溝などの経年劣化改修も同時に行える事業ということで、町民も待ち望んでいた事業だと考えます。傷みが激しい部分は町単独の予算を追加してでも安心して長持ちする道路が建設されることを期待します。



五味 仙一 議員

利用期間延長 または別の支援を

- ▶ 敬老祝品支給事業

住民福祉課所管に敬老祝品支給事業について。これは75歳以上の方が町内2ヶ所の福祉施設（ふれあいセンターふじみ・清泉荘）の入浴が無料利用出来る回数券（11回）対象の方は2900名。毎年各集落より敬老の日前後に配布され1年間有効。しかしコロナ禍が2年間続いているため利用期間の延長または別の支援をお願いしました。



矢島 尚 議員

町民の一生を見守る 「総合支援チーム」

- ▶ 進む「縦割り行政解消の改革」を後押しする

太陽光発電に関する様々な事案や、コロナ対応に追われる中、町は「総合支援チーム」の創設に向け、縦割り行政の改革を進めています。その第一歩が子ども課再編です。相談業務を担う「子ども・家庭相談係」を新設しました。その他の課も再編が行われ始めています。議員は再編の効果に注視し、より良い町政の実現を目指し町民の声を伝えていきます。



小倉 裕子 議員

どんな太陽光発電も 富士見高原に必要ない

- ▶ 高原の自然を残し、文化を育てたい

誰も、太陽光発電施設の隣に住宅を建てたいとは思いません。また、自宅のすぐ隣に計画されれば、誰も反対の声を挙げるでしょう。でも、現実にはこの富士見高原の自然の魅力に感動して移住を決断し、幸せな高原ライフを満喫しているその住宅のすぐ横や周辺に、次々と計画され申請手続きが進んでいます。議員として、反対の声を挙げ続けていきます。



島 正孝 議員

林業振興事業による 里山整備

- ▶ 森林環境譲与税を活用した有害鳥獣対策

昨年より集落周辺の里山間伐が乙見川流域が始まりました。令和4年度は残り20年までの間と上高木区が予定されますが整備が済んだ富士見区側はすっきりしてきれいな里山に生まれ変わりました。これからも整備された里山を地権者がいかに持続して守っていくか、新設された山へ行こう補助金を有効活用して自助共助の精神で大いに活用して維持管理をしたいものだ。



織田 昭雄 議員

テクノ街道沿線の今後

- ▶ 企業集積事業が進展

テクノ街道両側300メートルの指定区域内における企業集積事業が、令和4年度より始まります。事業の活性化に意欲的な町内経営者や若手後継者の事業を支援するための施策が設けられました。この制度を活用して1社でも多くの企業が集積し、テクノ街道沿線に工場ができ、多くの従業員が働ける環境を作る事業となることを期待しています。



三井 新成 議員

【風しん対策事業】 町内1200人弱が未接種



五味議員

罹っても軽症はいけません！
特に妊娠中の女性が感染すると生まれてくる赤ちゃんに障害のおそれ

【風しん対策事業】は一旦令和3年度で終了し、新たに令和4年度から5年計画で延長されます。生まれてくる赤ちゃんを風しんから守るために、特に昭和37年度から昭和53年度生まれの男性は、公的予防接種を受ける機会がありませんでした。皆さんが積極的に予防接種を受けることにより、海外から持ち込まれない限り風しん流行はなくなると言われています。これから生まれてくる子供を守るために、風しん抗体検査と予防接種を受けましょう。役場からクーポン券が送られます。

☆ 風しん対策事業費・・・3,263千円

超少子化対策関連予算に 5つの事業を準備



五味議員

婚活支援、結婚新生活支援、第1子出産祝い金支給、出産祝い券発行、子育て応援券発行の5つの事業

婚活支援事業 109万4千円、結婚新生活支援事業 240万円、第1子出産祝い金支給事業 400万円、出産祝い券発行事業 160万円、子育て応援券発行事業 175万円の5つの事業費の合計 1084万4千円の予算が計上されました。また、どれだけ予算を準備しても、子育て生産世代の収入が安定し、「子供を育てる」という力が創出できなければ子供は増えません。その意味で工業振興補助金 4000万円は町内製造業等工業者への支援等は、超少子化対策を実践する関連づけの意思を感じる事業だと思います。バランスよく予算が提出されるよう進捗状況を注視していきます。

18集落まで対象を拡大し、 補助金は1000万円に増額



川合議員

「協働のまちづくり」の一つとして、各集落の人的なパワーを呼び込む予算計上

土木費の中に、町単独の補助事業「町道改良事業」があります。これは、生活道路の補修のための予算で、各行政区がマンパワーを使って区内道路を補修するための補助金です。限度額 50万円を交付します。以前は予算総額が500万円。最多で10集落、しかも先着順の交付でした。補助金申請は新年度初日から受け付けていたので、4月1日の朝は、建設課の窓口で区長が並んだということもあったそうです。昨年の3月定例会で、「先着順の受け付けを改善してほしい」と一般質問をしました。答弁は「新年度から、事前に予定調査をして補助金を割り当てる方法に変更する」という内容でした。2年目の令和4年度は、補助金が2倍の1000万円。18集落が手を挙げています。

消防団ポンプ自動車更新

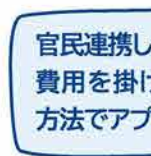


矢島議員

安心安全な生活基盤を守る
消防団活動支援事業

消防課予算の中にポンプ自動車更新予算2600万円があります。町消防団第1分団のポンプ車更新費用。現在配備されているポンプ車の経年劣化による更新。町の消防団は12箇分団で組織され、ポンプ車が配備されている分団は4箇分団。(第1、第3、第6、第10) それ以外の8箇分団は小型ポンプを車両に積載しているタイプ。今回更新されるポンプ車は第3、第6分団と同型の小型トラック型AT4WD。(ボンネット型は現在生産されていない)更新は25年が目安。町民の安心安全な生活基盤を守る予算です。

観光宣伝事業は コスト以上の効果を狙う



牛山議員

官民連携し効果の高い広告宣伝を。
費用を掛けず、得意な媒体に多様な方法でアプローチ

行政コストを掛けた観光宣伝は新聞一面広告など、単発的な訴求と信頼構築というような形式にこだわるケースが多かった。これからの時代の積極的な観光 PR は、各リゾートとも柔軟にタイアップして、それぞれが得意な媒体での強みを最大限活かして、情報の共有から多様な世代の「ファン」に、旬な情報をタイムリーにアプリやLINEなどからも多方向に広告発信する必要がある。ターゲット誘導の先には町内拠点のWi-Fi環境の整備を含め、町内の他の施設への周遊や SNS 活用など、効果と結果を求める総合的なアプローチとコスト意識が必要である。

徹底的議論

一緒に話そう・考えよう！
町の予算のこと

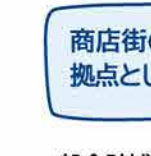
町民からの声が新予算に反映されているのか？
のべ12.5時間、11課・局、町民を代表した議員**179**の質問

どう使う？ **私たちのお金**

常任委員会の所属に限定することなく
執行側からの説明を受け、予算案全般
について徹底的に議論しました。

詳しい予算内容は「広報ふじみ4月号」をご覧ください

総合福祉拠点整備事業は どんな事業



三井議員

商店街の狭いところで総合福祉
拠点としての機能は構築できるか

一般会計補正予算として地域総合福祉拠点整備事業 6997万円が可決されました。令和4年度の事業として富士見駅前商店街にある八十二銀行の建物を購入し、総合福祉拠点として整備するものです。築50年が経過した建物で改修と移転登記で637,7万円、耐震改修工事等で6131,8万円、土地建物購入費として227,5万円となります。総合福祉拠点整備の目的は、町職員1名を常駐し福祉にかかわる総合的相談窓口を設けます。社会福祉協議会における重層的支援体制を創設し拠点整備の場所として利用できるスペースの確保をし、子供の居場所づくりの改修を行います。

町民の活動を支援し 故郷を守る積極的な予算



小倉議員

無駄を省くことは当然大切だが、
将来の姿をイメージした施策を
行っていくことが重要

令和4年度予算は、町全体のあらゆる活動を積極的に後押ししようとしている予算になっています。長年の懸案であったテクノ街道も動き出しました。商店街のイベントも後押しし、里山整備、農業支援にも積極的に予算付けしています。結婚・子育て支援もより充実してきました。庁内職員も積極的に知恵を出し合い、明るい未来が描ける町づくりを目指しています。町全体がより活気付き、魅力ある町になって行かれるよう町民の声をそこに届けて行くとともに、町の情報も伝え町民全員が富士見町に生きている喜びを享受できるようつなげて行きます。

道路施設予防保全 対策事業について

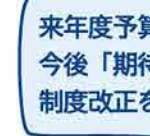


織田議員

安心安全なまちづくり防災、減債、
国土強靱化対策の推進をしていく
大きな予算づけがされています

令和4年度分として予算3億2690万円が盛り込まれましたが、これは2021年から2026年の5カ年計画で総額8億2270万円をかけ町の幹線道路14路線について舗装補修工事と側溝不具合箇所の補修を行う工事が含まれたものです。財源は国からの起債であります。総額の70%にあたる約5億7600万円がのちに交付税措置されるという非常に有利な起債でありますので町にはありがたい起債であります。

補聴器購入補助



名取議員

来年度予算に20万円？
今後「期待」していただけよう、
制度改正を求めてまいります

私は昨年6月議会の一般質問で補聴器購入支援制度を提案したところ、町から前向きな回答を得ることができました。それを得て議会だより「高齢者の難聴者の皆さん、期待してください」と乗せたところ、「議会だよりモニター」の方から「ぜひ」との声が寄せられました。社会文教常任委員会ではこの声に応えようと、来年度予算に入れてほしいと町側に要望書を提出しました。ところが来年度予算書を見て唖然としました。「加齢難聴者購入補助」、わずか20万円です。低所得者だけを対象にしています。

福祉・教育に手厚い 予算配分



島議員

令和4年度当初予算はバランス良く
予算付けされており、予算組み立て
の苦勞の跡がうかがえる

厳しい財政の中で、目配り気配りがなされた予算配分がなされている。中でも、名取町政の意欲の表れとして、教育・福祉に手厚い配分がされているのは評価できる。教育については、一人一人の子ども潜在的な能力を引き出し、意欲をもって学習に取り組めるような配慮。福祉は、幼児・児童、そして社会的に立場の弱い人々、特に年配者に対して、これまでの長い間の社会貢献に感謝し、濃やかな予算付けがなされているのは評価できる。望むならば、乳幼児への月刊雑誌の無料配布を次年度に期待したい。

詳細についてはお近くの議員にお尋ねください

総務経済常任委員会

議案審査 抜粋

社会文教常任委員会

議案第4号 富士見町工業振興条例の一部を改正する条例(産業課分)

●説明では、産業振興センターの立ち上げによる活動の成果。後継者が技術的能力が高い、このことから、町内企業の持続的な工業を目指すものとしての条例改正。
●質疑では、テクノ街道沿いに限らず企業拠点整備への考慮も今後は検討し、企業ヒアリングを行うに對し、町内企業への第一歩と考える。商談機会の実施等の支援も含めての検討課題としたい。モデルケースとして、第一歩と考える。次の段階に早く進むことを期待。会議室は数社の共同利用でよい、という意見がある。
●討論では、町内企業への手厚い補助は明るい、発展の第一歩としてほしい。賛成多数で原案どおり可決すべきものと決した。

議案第8号 令和3年度 富士見町一般会計補正予算(第14号)

【財務課分】
●説明では、歳出 13 款 諸支出:05 減債基金積立金9116万3千円 令和3年度普通交付税の確定によるもの。
歳入 15 款 国庫支出金、2款国庫補助金、1目総務費国庫補助金の臨時交付金等について内訳は、防災施設整備40万円、町民応援振興券5000万円、攻めの誘客5699万6千円、新型コロナウイルスPCR検査業務委託206万5千円。

いずれも、原案通り可決すべきものと決しました。

議案第3号 富士見町国民健康保険条例の一部を改正する条例

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもの均等割保険料を軽減し、その減額相当分を公費で支援します。質疑では、基本的な理念と恩恵を受ける対象者数について質問。「理念は子育て世帯の経済的負担の軽減。未就学児は82人で、公費負担は78万円」との答弁でした。

議案第5号 富士見町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

上部法が改正されたことから、第3条第2項の但し書きを削除します。

議案第9号 令和3年度 富士見町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

保険給付費等交付金償還金は、令和2年度に県から概算で交付金を受けたが、令和3年度に精算し、返還金が確定した。質疑では、「保険給付費が減ったから、交付金を返しなさいということか」との質疑があり、「交付時は多めに交付されるので、補正をして返還している」と答弁。

議案第10号 令和3年度 富士見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

●質疑では、県の審査と窓口はに對し、県とは事前に協議しながらの申請である。窓口は県の地域振興課。討論はなく賛成多数で原案どおり可決すべきものと決した。

【産業課分】

●説明では、6 款 1 項 農業振興費 55 農地中間管理事業は約化奨励金 483 万 9 千円。小六地区へ
35 農業競争力強化基盤整備事業は賦課金122万8千円。
7 款 1 項 商工振興費 20 地域交通システム対策事業は交通システム運行の利用者の減少対策120万円 観光費 05 観光協働事業費 諏訪地域観光安全対策は御柱対策300万円。
●質疑では、観光協働事業の減額はあるかに對し、山出しはないが、綱置き場のトイレ対策。里引きまで御柱屋敷へのトイレ設置が継続し、里引きは実施予定なので今後の検討課題としたい。討論はなく賛成多数で原案どおり可決すべきものと決した。

陳情第4-2号「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める陳情書

●討論では、制度の見直しで、内容により可否があり賛成できる部分もある。しかし国の制度に問題があるとは思えない。水張りのできない水田は、水田の要件に合致しないので不採択でよいのでは。採決では不採択と決した。

後期高齢者医療広域連合納付金は、負担金160万円を補正します。普通徴収保険料が当初見込みより多いための補正です。

議案第8号 令和3年度 富士見町一般会計補正予算(第14号)

【住民福祉課】住民基本台帳ネットワークシステム事業、自立支援給付事業、地域生活支援事業などを補正します。

【子ども課】子育て支援拠点事業、学校保健特別対策事業、要・準要保護児童就学援助費などを補正します。質疑では、隔離室について質し、「新型コロナの関係で発熱した場合に、一般の子どもたちと接しないように、ご家族が迎えに来るまでの間、隔離するための部屋です」との答弁がありました。

【生涯学習課】町指定天然記念物とちの木風除け林の整備費を補正します。質疑では、「とちの木区の方針で、年度内の事業として申請されたもの」との答弁がありました。

【消防課】分団施設等整備費を財源補正します。質疑では、N95 マスクについて、「避難所等では密接する機会が多くなることを想定し、機能の良いものを購入する」との答弁がありました。

【陳情】

採決では、2 件とも継続審査に付することに決しました。



第522回 3月定例会の採決結果(全会一致の議案)

議案名等	議員	採決結果		
【町長提出】				
議案第1号 富士見町個人情報保護条例の一部を改正する条例	全会一致	可決		
議案第2号 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例				
議案第3号 富士見町国民健康保険条例の一部を改正する条例				
議案第4号 富士見町工業振興条例の一部を改正する条例				
議案第5号 富士見町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例				
議案第6号 町道の路線の廃止及び一部廃止について				
議案第7号 財産の無償譲渡について				
議案第8号 令和3年度 富士見町一般会計補正予算(第14号)				
議案第9号 令和3年度 富士見町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)				
議案第10号 令和3年度 富士見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)				
議案第11号 令和3年度 富士見町観光施設貸付事業特別会計補正予算(第1号)				
議案第12号 令和3年度 富士見町富士見財産区特別会計補正予算(第1号)				
議案第13号 令和4年度 富士見町一般会計予算				
議案第14号 令和4年度 富士見町国民健康保険特別会計予算				
議案第15号 令和4年度 富士見町後期高齢者医療特別会計予算				
議案第16号 令和4年度 富士見町観光施設貸付事業特別会計予算				
議案第17号 令和4年度 富士見町富士見財産区特別会計予算				
議案第18号 令和4年度 富士見町水道事業会計予算				
議案第19号 令和4年度 富士見町下水道事業会計予算				
議案第20号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて			適任	
議案第21号 富士見町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて			同意	
議案第24号 令和3年度 富士見町一般会計補正予算(第15号)			可決	
【請願・陳情】				
請願第3-1号 富士見町都市計画道路・富士見駅北通り線 事業促進を求める請願書【※令和3年12月 第519回定例会からの継続審査】			全会一致	趣旨採択
陳情第3-11号 ウイグルの人権問題に對し国に調査を求める意見書採択の陳情書	継続審査			
陳情第4-1号 母(毛嘉萍)が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情書				
【委員会・議員提出】				
議第1号 予算審査特別委員会の設置について	全会一致	可決		
議第2号 ロシアのウクライナ侵攻を強く非難する決議(案)				

賛否の分かれた議案等

○賛成 ●反対 ※棄権

議案名等	議員										採決結果
	川合弘人	五味平一	矢島尚	小倉裕子	牛山基樹	島正孝	三井新成	名取武一	織田昭雄	五味仙一	
【町長提出】											
議案第22号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案第23号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
【請願・陳情】											
陳情第4-2号 「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成多数で不採択

一般質問要旨

町の考えを問う

3月定例会の一般質問は、3月7日、8日の両日行われました。9人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。質問時間は、各議員に質問と行政側答弁を合わせて1時間割り当て、町側に通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目と、その答弁要旨を掲載します。



質問順

- 1** **名取 武一** 議員 **議席 8**

1. 岳麓3市町村長による共同宣言について
2. この間急激に悪化している農業分野への支援を
3. 国保料について
4. 八ヶ岳観光圏について
- 2** **小倉 裕子** 議員 **議席 4**

1. 太陽光発電施設設置と災害誘発の可能性について
2. 商工観光戦略構築事業について
- 3** **島 正孝** 議員 **議席 6**

1. メガソーラー設置の環境への負荷と、その必要性をどのように考えるか
2. 満蒙開拓平和の記念館（阿智村）が創設した自治体パートナー制度への加入は
3. 読書推進の町づくりについて
4. 聴覚障害児・者へのパソコン・タブレット提供は
5. 庁舎敷地内に蜜蜂の箱を置いては
6. 富士見町駅前の再開発を検討する考えは
- 4** **矢島 尚** 議員 **議席 3**

1. 産業振興の強化について
2. コロナ禍の人間形成について
3. 教職員の働き方改革による部活動の地域移行について
- 5** **織田 昭雄** 議員 **議席 9**

1. 富士見ウツリスムステーションの今後目指すものについて
2. 富士見町の新たな総合福祉拠点の新たな構想について
- 6** **五味 平一** 議員 **議席 2**

1. 第一次富士見町サル被害対策プロジェクトについて
2. カラス被害対策について
- 7** **牛山 基樹** 議員 **議席 5**

1. 企業版 ふるさと納税の考え方について
2. 「令和3年度厚生労働省補正予算活用の考え方について」 新たな子育て家庭支援の基盤を早急に整備していくための支援、超少子化対策につなげる計画について
3. 温暖化防止推進、環境配慮型住宅の取り組みについて
4. 発表した14の政策「町民の健康づくりの拠点」の考え方について（包括支援体制を拡充し、健康推進プロジェクト積極展開を除く）
- 8** **三井 新成** 議員 **議席 7**

1. テクノ街道沿線への企業集積について
2. 観光協会の今後の体制について
3. デマンド交通の増強について
- 9** **川合 弘人** 議員 **議席 1**

1. 藤内遺跡の謎を、本腰を入れて解明する考えはあるか
2. 井戸尻考古館の新館建設について、縄文時代の遺跡が町内全域にある町として、新館をどのように位置付けたビジョンを描いているのか
3. 保育業務のICT化に向けて
4. 井戸尻考古館の「初代館長」を顕彰する考えはあるか

3月7日

3月8日

■ 質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。
■ 一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを責任編集しています。

この間急激に悪化している農業分野へ支援を

答弁 町単独では限界…具体的支援の答弁なし

なとり たけいち
名取 武一 議員



- Q** 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主食用米の急激な需要減少などにより米価が大きく下落している。農業者の経営の安定のため、米作農家を支援できないか。
- A** 提案はわかるが、町単独では限界がある。今後何らかの支援ができないか研究したい。
- Q** 畜産物の需要減、輸入配合飼料の高騰などにより畜産業者は苦しんでいる。畜産業者を支援できないか。
- A** 畜産農家は輸入配合飼料だけに頼らず自給飼料を利用し、輸入価格高騰に備えている。中山間地域等直接支払交付金、経営所得安定対策等交付金、酪農経営安定対策事業、配合飼料価格安定制度等の支援策がある。
- Q** 燃油の高騰により、花卉栽培業者は苦しんでいる。原村ではハウス農家に1軒10万円支援している。園芸農家を支援できないか。
- A** 今のところ支援は見送っている。

■地球温暖化対策

- Q** 地球温暖化対策は喫緊の課題。「屋根置き型太陽光発電設備と蓄電池の普及促進」の内容は。

- A** 県は太陽光パネルと蓄電池を同時に設置する場合は20万円、蓄電池のみ設置する場合は15万円補助する。町はこれに上乗せして太陽光パネルと蓄電池を同時に設置する場合10万円、蓄電池のみ設置する場合は5万円補助する。予算では太陽光パネルと蓄電池を同時に設置する場合10件、蓄電池のみ設置する場合は5件組み込んだ。小さい予算でスタートするが、PRを進め、予算不足が生じた際は、補正予算でお願いしたい。

2月16日・SBC報道から

政府価格抑制策5円にもかかわらず
原油の高騰は止まらない。

重油	20年5月	59	円/ℓ
	21年12月	93.2	円/ℓ
差		+34.2	円/ℓ : 1.58 倍

辰野町 10円/ℓ、最大20万円支援
花卉農家6軒
これで2kℓ買えると喜んでいる。

太陽光発電施設設置と災害誘発について

答弁 各地区の情報を聞きマップの作成を始める

おくら ゆうこ
小倉 裕子 議員



- Q** 丘陵地に造成を伴う太陽光発電施設が建設されることによって、土砂災害発生の危険が想定される場合、町はその情報をどのように得るのか。
- A** 3月18日以降は、野立ての太陽光発電設備が計画される場合は、丘陵地を含む10kw以上の計画に対して、事業が具体化する前の段階で事業計画事前協議を町に提出することを義務付けた。
- Q** 富士見町は地質的に水処理の課題が大きいですが、地元住民からの要望があれば浸透試験の立ち合いは可能か。
- A** 状況を確認し必要な調査の指導を行ない、必要と認めるときは専門家による助言を求めることができるものとし、また町も調査に立ち会う。

- A** 東急リゾートには、当初は管理・運営・索道・安全・衛生等担ってもらっていた。現在は主に観光施設の安全管理をお願いしている。大変重要なものであるため今後も委託契約を継続して行きたい。しかし、契約内容は実態と合わせるよう見直す。
- Q** 今後も委託契約をするならば、現在の契約金額の中で、富士見町全体の観光施設について、観光協会・商工会観光部会・産業課と共に、そのノウハウを伝授していただければと思うが。
- A** なるべく町にとって有益な契約となるよう考えて行きたい。

■商工観光戦略構築事業について

- Q** 富士見パノラマリゾートは、東急リゾートとの十数年に及ぶ業務支援により職員及び組織は十分に成長していると見受けられる。更なる成長を促すためにも契約の見直しを考えてはどうか。



メガソーラー設置の環境への負荷は

答弁 地域との協調も大切。必要かどうかとも検討する

しま まさゆき
島 正孝 議員



■満蒙開拓平和祈念館の自治体パートナーシップの加入は

- Q 富士見町も戦前に分村して満州に入植しているが。
- A 今のところ加入については白紙。

■読書推進の町づくりについて

- Q 幼児・児童に特化した読書推進の町づくりは。
- A 幼い頃からの読書習慣は大切。これから力を入れて行く。

■聴覚障害児・者へのパソコン・タブレットの提供は

- Q これからのコミュニケーションツールとして有望だが。
- A 大切な事だが、今は考えていない。

■庁舎屋上に蜜蜂の巣箱を置いては

- Q 自然の豊かさのPRとしても有効だが。
- A アイデアとしては面白いが、管理その他が難しい。

■駅前商店街の再開発を検討する考えは

- Q コロナ禍で商店街は大ピンチに陥っている。今こそ再開発のチャンスでは。
- A 現在のところ、その考えはもっていない。



幼い頃からの読書習慣はとても大切

産業振興の強化について

答弁 モデルとなる町内企業の移転を進めている

やしま たかし
矢島 尚 議員



■産業振興の強化について

- Q 企業誘致の現状は。
- A 企業からの問い合わせは増えてきています。事業戦略もあり具体的にはお伝えは控えますが、業種とすれば物流・製造業の企業複数社より問い合わせがあり現在交渉も継続している。問い合わせがあった企業につきまして産業振興センターと連携し見極めをしてから支援するようにしています。見極めのポイントは、町内企業との連携ができ、経済効果や雇用効果で地域貢献し、富士見町に定着する可能性が高い企業を支援の対象としていくこととしています。農業法人からの問い合わせも数社きています。また再基盤整備事業用地3ヶ所目は、境地区高森ライスセンター周辺20～30畝を考えている。今後、地元区と調整を進めていく。
- Q テクノ街道沿いの進捗状況は。
- A テクノ街道の沿線は以前から事業用地として注目されていました。しかし農地法や農振法、都市計画の用途指定の法的な課題がある中で、長野県とも調整を進めてきましたが進展しない状況が続いていました。進まなかった一番の原因は、工業団地のように「面

的」に事業用地化しようと調整を進めていたためです。長野県に相談する中で、面的に調整を進めるのではなく、まずは個別の進出モデルをつくり、そこから周囲に広げていく方法のアドバイスをいただきました。今年度は、モデルとなる町内企業の移転から現在進めています。



再基盤整備事業用地の高森ライスセンター周辺

移住相談の分析から見えるものは

答弁 県内近隣市町村から若い移住相談者が増加

おだ てるお
織田 昭雄 議員



- Q 移住相談者の分析の中から見えてくるものは。
- A 昨年度全体の相談201件をかなり上回る状況で推移している。東京都では長年転入超過が続いたが昨年は転出超過に転じた。都心への人口集中と言う長い歴史の大きな変化だと捉えている。この現象が一過性なのか注目して行きたい。コロナ禍の特別な環境の中で大都市に生活する人々の価値観の変化や企業の働き方改革が地方移住を促進していると考えられる。分析は5つの項目を集計し2点の傾向が見られる。
1点目は、30代の移住希望者が36%と6%増加した一方で50代60代29%と9%減少している。
2点目は、令和2年度は首都圏からの相談者が全体の5割を占めていたが本年度は県内の人々が33%と11%増加した。ここから見えることは移住希望者が若い世代へシフトしてきていることであり、子育て、教育への関心が高く子供の就学前のタイミングで相談に来られている。町はこの様な新たな流れを掴み若い世代に魅力的な施策を展開して行きたい。
- Q 新たに取得する総合福祉拠点の駐車場の確保はどう考えているか。現在のスペースでは狭すぎる。新たに取得する考えは。

- A 駐車場の件は重要課題と考えている。入り口は狭いし現状のままでは難があるがまずは現状の形での利用から始めたい。必要な事はよく理解している。頭の中に入れておきたい。



信濃境駅に取り付けたFターン勧誘看板

なかなか減少しないサル被害対策どのように

答弁 サルが住みづらい環境整備、里山に人が入るが一番

こみ へいいち
五味 平一 議員



- Q 第1次富士見町サル被害対策プロジェクト策定から4年が終ろうとしている実績は。
- A 平成30年からプロジェクトを進めている。基本方針は追い払いと環境整備と進入防止、有害捕獲である。4年間の主な成果「環境整備」緩衝帯整備面積約7千㎡、進入防止電気柵整備延長約4200m、有害捕獲については期間内163頭、花火配布28集落に約1万3千本の配布を行った。
- Q 追い払いが有効であると言われるが、サル生息地は急傾斜地・高齢化等で無理があり困難、有効な追い払いとは。
- A 川路地区、西山地区南側は急傾斜地で山林も荒れている。対処法でサルが出たら花火を仕掛けるしかない。住みにくい環境づくり、令和4年からは特に環境整備に力を入れる。これは人とサルの距離を作る、人とサルの棲み分けする里山に人が入ることが大事、町の事業として取り組む。
- Q 追い払いについて、環境に良い花火の選定、パチンコ、バイオBB弾使用の電動エアガン等の貸し出しを提案するが。
- A 花火については選定を考える。それ以外についても検討していきたい。

- A サルの遊動把握をネット配信、集団把握・サル追いにドローンの活用は。
- Q 私も思っているが、しかし機械的に進める事には限りがある。まずはサルとヒトの棲み分け、共存できる事が重要である。



餌箱壊れ猟友会任せでなく行政の見回り管理が必要

母子保健と児童福祉の一体的支援の重要性

答弁 子ども総合窓口整備を図り充実させる

うしやま もとき
牛山 基樹 議員



- Q 子ども総合支援の窓口とは何か。
- A 子育て世代包括支援センター(住民福祉)、子ども家庭総合支援拠点(こども課)の機構改革を含めて、子ども支援チームを強化した連携デザインを始める。
- Q 成長や悩みに対応する窓口が縦割りになっており、窓口整備は急務である。コロナによる少子化対策には寄り添い型の支援が必要ではないか。
- A 窓口を改革し多面的に捉えてみるのが子育てだと考えている。
- Q 支援を必要とする妊産婦から、子育て世帯、こどもを対象とした長い成長期間に対応できる窓口支援は、どこが所管し、専門の支援員をおくのか。
- A 人的な支援体制は保健師が中心になる。児童福祉の分野にも入って子ども課が所管する。そのために新しい係を作り母子保健から切れ目のない支援を行う。
- Q コロナ禍の産後ケア、切れ目のない支援の重要性は。
- A 感染症の恐怖の中では出産後の負担も大きい。多くの方が利用しやすい通所型のケア体制を整えて心身のケアをしていく。経済的な支援もパッケージとして実施する。

- Q 子どもの養育だけではなく、ヤングケアラーを含む保護者自身も支援を必要とする家庭への支援は。
- A 相談に重きを置いて訪問支援を含め実施する。

■企業版ふるさと納税

- Q 地方にとっては新たな民間資金獲得となる。行政コストを掛けない新たなまちづくり、地方創生事業でもあるがその認識は。
- A 国に認められる認定地域再生計画を作り、令和4年度9月を目途に準備する。意味のある制度で早急な取り組みの重要性を認識している。



安心のためには、切れ目のない支援が重要

テクノ街道沿線への企業集積について

答弁 指定区域を設定して町内企業の集積を支援

みつい しんせい
三井 新成 議員



- Q テクノ街道沿線への土地を購入するうえで、隣接する町道、農道の拡幅のための支援等の考えは。
- A 町内企業の拡大、発展は、町にとって大切なことであり、そのための企業集積に期待するところであり、様々な計画があり町内で大きな課題となっている。町が工業用地として用地の先行取得をし、インフラ整備をすることは理想ではあるが、現段階では難しい。工業者の移転新設、増設、用地取得、造成等を行うための支援として補助率のアップと限度額の増額、操業開始要件の延長を行っていく。またテクノ街道沿線への指定区域を設定し概ね300メートル内における用地取得について補助をしていく。
- Q 上下水道等のインフラ整備についての町としての対応は。
- A 農地法や都市計画法に関係するため対応できない。テクノ街道沿線への企業移転が進みある程度の集積が図られればインフラ整備について進めていく。
- Q 指定区域にかかる土地の所有者に対して、転売希望があるかを調査して購入希望のある企業に情報提供をする考えはないか。
- A 意向調査は町がオープンに情報収集できないので、具体的なケースがあれば情報提供していく。



ここから先、左右300mが指定区域

藤内遺跡の謎を解明する考えは

答弁 謎だらけだ この謎に挑んでいくことが大切

かわい ひろと
川合 弘人 議員



- Q 藤内遺跡の謎を、本腰を入れて解明する考えはあるか。
- A 文化庁と県教委の指導を受けながら、学術的な価値の再評価に着手した。必要に応じて調査し、令和6年の国史跡指定を目指す。歴史の「史」を死んだ学問にしてはならない。
- Q 藤内遺跡は多くの謎に満ちた最重要の遺跡と考えるが、教育長の見解は。
- A 他の遺跡に比べ、土器の造形の見事さは群を抜いており、頂点を極めた作品だ。縄文人の生活、文化を知る上で非常に重要な遺跡だが、現在までに知り得たことはわずかだ。藤内は謎というより、謎だらけ。この謎に挑んでいくことが大切だ。
- Q 町長は、人的な不足を補い、本格的な調査に着手する考えはあるか。
- A 二人を増員したばかりで、今はそんな余裕はない。

■井戸尻考古館の新館建設について

- Q 縄文時代の遺跡が町内全域にある町として、どのようなビジョンを描いているのか。
- A 井戸尻文化の遺産を保存・公開するとともに、研究成果を発信する施設と考えている。遺跡の保護も一体のものとして進めていく。

■保育業務のICT化に向けて

- Q 保育士の負担軽減のためにも、支援システムの導入を検討してはどうか。
- A 保育園のICT化を徐々に進めたい。保育園を中心に総合的な検討を進めている。

■井戸尻考古館の「初代館長」について

- Q 顕彰する考えはあるか。
- A 新館構想の中で、初代館長だけでなく、井戸尻文化の研究に尽力された方々について、称え、感謝するコーナーを設置し、展示を考えている。

謎に満ちた最重要の遺跡とされる「藤内遺跡」



議員の視点

本年度予算額の大幅な増額について

令和4年度一般会計の予算は昨年度比8億8千万円の増額となりました。その要因は、土木費の道路橋梁費としての道路施設予防保全対策事業に3億2690万円を予算付けしました。町内の主要幹線道路の道路舗装改良と、側溝の工事となります。令和8年度まで5年間に整備をしていくものとなります。町の緊急自然災害防止対策事業債を財源とします。近年町道の傷みが激しく、その改修工事となりますが主要幹線が対象となります。その他の道路改修には、道路維持修繕事業のうち工事請負費として1200万円と町単補助町道改良事業1集落50万円として20集落分1000万円にて対応します。町道の舗装改修が今後も町民の皆さんのご理解をいただき進めていく必要があります。

文責 三井新成

特に「教育と子育て」これからの行政に注目

教育では、富士見中学校の屋根・内部施設の改築に1億7千万円、ICT環境の整備等に600万円余、新たな教育の推進に1800万円余を予算付けしている。一方子育て推進事業等に、総計3千万円余が投じられている。これらの投資は、すぐに目に見える効果は期待できないが、積極的に継続して取り組むことにより、やがて住みたい町、住みやすい町の実現に向かっていこう。現町政の、この積極的取り組みを議会としてもしっかり支えていきたい。文責 島正孝

継続費とは

通常の予算が一会計年度の予算としてその年度内に完結することを建前とした「単年度予算」であることに対して、ある目的のために2カ年度以上にわたり支出すべき経費の総額とその年割額を定め、数年度にわたって支出することができる。2カ年度以上にわたって執行しなければその目的が達成されない大規模な建設事業などについて、あらかじめ予算としてその事務事業の執行に要する期間、事業費総額における当該期間に年度ごとの支出予定額を定めて置き、これに従って当該期間に定められている数カ年度にわたって支出する経費です。支出すべき経費の総額および年割額について、あらかじめ一括した予算として議会の議決を受けるもので予算の会計年度独立の原則に対する例外のひとつです。

文責 織田昭雄

継続費のメリットはなにか

継続費に計上すれば初年度に総額で契約することができます。一度の入札で複数年度事業を一括して発注が出来るので、結果として単年度ごとの契約に比べスケールメリットとして発注金額の引き下げも期待できます。請負御者にとっても一括受注出来ることで計画的な事業進行や複数年度の施工計画が立てやすく工事準備もできると言うメリットがあります。

文責 織田昭雄

議会だより モニターさんの声

総務経済常任委員会まとめ



ホテイアツモリソウが町の宝とおっしゃっていますが、関心がない、知らない町民がほとんどだと思います。入笠山のすずらんを見に行きたいと、県外の友人から言われたことはありますが、ホテイアツモリソウは、話題にできることもありません。町の宝であるならば、まずは、町民に知ってもらえるようにしていただきたいと思います。

総経
委員会

町の担当課へ確認したところ、富士見町アツモリソウ再生会議が活動を主導しているとのこと。再生会議では自生地の保護、実験植物園の整備、培養苗による苗の販売を3つの事業の柱として活動をしています。令和3年には初めて培養した苗の販売をすることができて、約600人の方に約2000株を販売しました。また、パノラマリゾート山頂駅付近の山野草公園では毎年10株ほどのアツモリソウをご覧いただいています。「富士見町アツモリソウ再生会議」で検索いただければ、ホームページをご覧いただけます。釜無ホテイアツモリソウの紹介や魅力を今後も精一杯発信していきます。



地域包括ケアシステムも公共交通システムの推進も、高齢者や弱者に対して本当に必要なシステムであると考えますので、一日でも早くよいものが実現することを応援しています。

総経
委員会

令和4年度より産業課内に工業交通係が新設されます。工業や地域公共交通の専門係となりますので、4月以降の動向を注視していきます。

社会文教常任委員会まとめ



子どもの教育について、町の回答が納得できません。教育格差があることを、さまざまな部署と連携し、もっと深く考えるべきです。

社文
委員会

町教委は、教育格差の取り組みについて手を抜いているわけではないと考えます。議会答弁の中で、十分な説明ができなかったのかもしれませんが、教育格差の是正への取り組みは、3月定例会の予算審議の中でも出てきています。日々、努力していると思います。さらに問題点があれば、声を寄せてください。



新型コロナウイルス感染に対して、町内に感染者が発生した日は、町長が告知放送で感染人数を発表しています。感染防止に努めてほしいと呼びかけていますが、その中に、感染経路、原因などの情報がありません。学校でのクラスターなのか、濃厚接触者なのか、県外との往来によるものかなど、分かりません。個人を特定できない範囲で、できる限り多くの情報があれば、対応しやすいと思います。

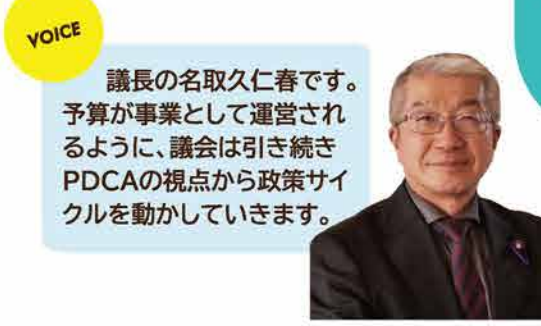
社文
委員会

新型コロナの感染状況について、より多くの情報がほしいという気持ちは分かります。しかし、県から町への発表内容は限られたもので、人数以外の詳細な情報は伝えられてはいないとの説明を受けています。ただ、その中でも、感染予防のため、できるだけ多くの情報を、町民に公表してほしいという思いは伝えたいと思います。

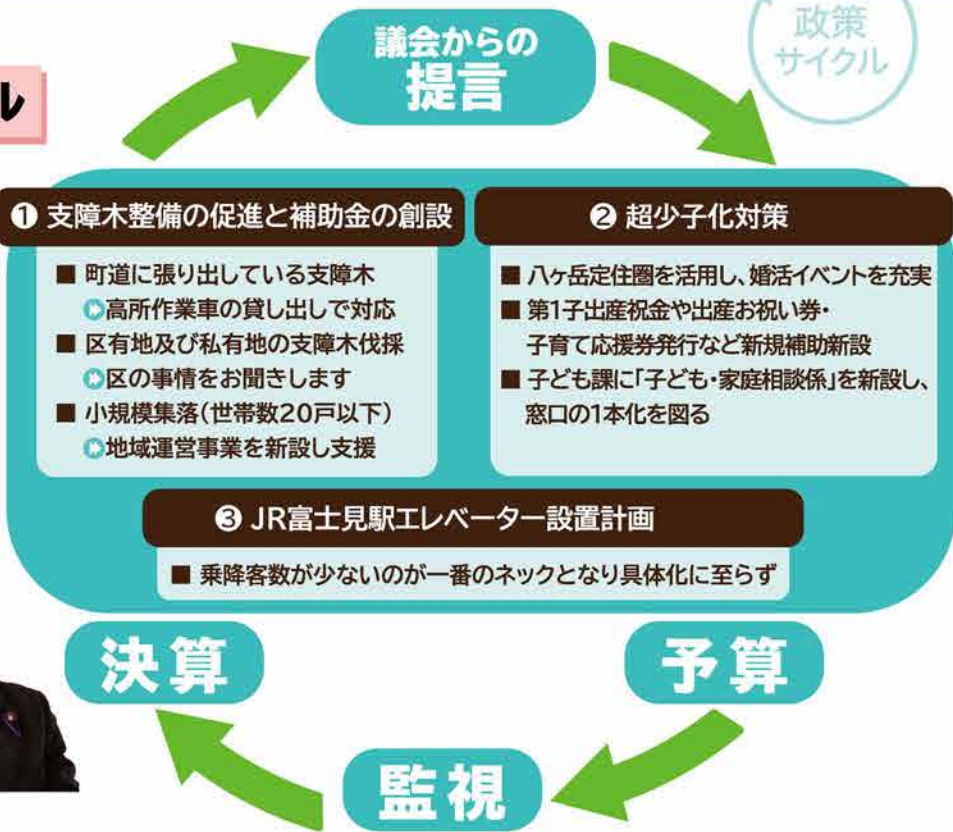
どうなった？ 議会発政策サイクル

考えよう、決算。つなげよう、予算。

10月に議会が提出した**3つの提言**。令和4年度の事業にこのように**反映**されました。



議長の名取久仁春です。予算が事業として運営されるように、議会は引き続きPDCAの視点から政策サイクルを動かしていきます。



学びを活かす

●1月27日に環境保全審議員と議員、そして事務局の総務課と旧小川別荘開発審査アドバイザー会議を行いました。

●2月10日に議員と事務局の総務課と、富士見町太陽光発電設備の設置及び維持管理に関する条例の一部改正に伴う議員勉強会を行いました。

オンラインで広報勉強会に参加

「編集の視点はどこに…」

2月15日・21日町村議会広報クリニック「動画視聴勉強会」4つのテーマ、4人のプロフェッショナルから学びました。ポイントの重要性は、町民の参加。町民の皆さんの声が届くような「双方向の編集」がこれからの議会広報には求められます。町民の皆さんの声(P2~P3)をのせてみました。そして、初めて見た人でもわかる内容か。簡潔に記す代わりに情報の種類を増やす。文章は短くして項目を増やす。読ませる意識よりも見せる意識の編集など、難しそうな議会だよりをどれだけ身近に読んでもらえるか。ここに全国の優良議会広報誌は取り組んでいました。

住民読者の視点にたった紙面づくりを意識するためには

【課題①】
予算原稿は、数字だけではなくトピックを見出しに取る。何に予算を使ったのか、何を審議したのかを明確にする。
→特集 P3-P5 予算特集に反映

【課題②】
議会での話し言葉を書き言葉にする。簡潔に伝える工夫をする。
→まだまだ今後の課題です



【課題③】
写真でレイアウトのメリハリを付ける。写真の扱いで、文字量を軽く見せられる。→まだまだこれからです

【課題④】
顔のポーズ写真は、視線を読者に向けるようにする。写真1枚にも、読者に向き合う姿勢を表現する。
→今回正面向きの写真に変えました。
以上4点を挙げられました。

町民の皆さん目線により近づけた議会だよりの編集を念頭に、これからも分かりやすい議会だよりを心がけてまいります。町民の皆さんのお声をお聞かせください。

上部のハガキを切り取り、みなさんのお声を聴かせてください。コロナ禍にあって議会では町民の皆さんとの交流が減っています。どんなことでも結構ですので気になることをお知らせください。議会では町民の皆さんと共に歩む開かれた議会を目指します。

富士見町議会は、令和4年3月(第522回)定例会において、全会一致で「ウクライナ侵攻を強く非難する決議」を可決しました。

POST SCRIPT 編集後記

新年度予算も昨年比8億8千万円の増額を議会として決定しました。新年度の始まりに今年こそはコロナウイルス感染症の撲滅を達成し、本来の生活に戻れることを期待するところです。町で行う施策により人口減少に変化が感じられるようになってつつあります。さまざまな町の環境整備により、移住・定住者やU・Iターン者が増加し、安心して若者が住んでみたい理想の町になるように富士見全体の底上げを町民の皆様とともに一致協力して「お願いだ〜、よいさ」と願っています。

文責者 三井新成